日本医療機能評価機構認定病院

那珂川病院だより

VOL.51 平成24年5月

〒811-1345 福岡市南区向新町2丁目17-17
TEL.092-565-3531（代）
FAX.092-566-6460
http://www.nakagawa-hp.com
（携帯電話でもご覧いただけます）

病院理念 ― 思いやりそして努力　奉仕そしてよろこび

守るべき調和

院長　下川 敏弘

今年も桜の季節からゴールデンウィークを無事に迎えることが出来ました。昨年と比べると幾分かの明るさを強く感じているこの頃です。昨年の東日本大震災からは、次々と原発が停止し、私達が日頃、何気なく使っているエネルギーについてよく考えなくてはならなくなっています。このままの電力状態でこの夏は乗りきれるのか。このまま化石燃料に頼って経費をかけて日本の経済活動は維持できるのか。このエネルギー問題同様に、消費税やTPPや年金などの問題も5年10年経てば、いまの決定や行動が正しかったのかは明らかとなるでしょう。ただ、個人的にはなるべく前向きに明るく意欲を持ちながら、利己的ではなく利他的に行動したいと考えています。

なぜなら、現在、日本は戦争をしているわけでもなく、侵略を受けているわけでもなく、福祉もそれなりに充実し、飢餓もない社会が構築できています。水道の蛇口をひねれば飲用水がいつでも飲めるし、スイッチを入れればいつでも灯りが点きます。水道から温水が出るとき、しばしば私は以前読んだ村上龍の「半島を出よ」の中で、北朝鮮の女性兵士がシーホークで簡単に温水が出ることで、自らのつらい半生に思いを巡らす場面を思い出します。私たちは極めて高度な調和がとれた社会で暮らしているのです。少子高齢化や超高齢化社会を迎えても、この調和を未来に継続させる義務がいまの私達にはあると考えます。

さて、それには何を行う必要があるでしょうか。原発を減らしても調和を保つためには何が必要でしょう。私は携わっている医療の現場から調和を保つために少しでも役に立ちたいと思います。今年4月1日、日本医師会長に福岡県出身の横倉義武先生が選任されました。先生には、この高度な調和を維持していくための大きな一翼を担っていただけるものと期待しています。同じく4月に医療と介護の報酬制度が同時改定となりましたが、それは問題を解決し調和を保つことに役立つのでしょうか。日本医師会員のみならず、日本全国の医師、医療従事者、そして国民全体が考えて実行してもらいたいことです。

まずは身近なところから、那珂川病院の職員一同が、患者さんを中心にサポーターとして支え、幸せで穏やかな人生を送ってもらえるように頑張っていきたいと思います。

パンジー

自宅で母を看取れた感謝

田熊 淑子

大腸癌で昨年9月に亡くなった母を、自宅で看取ることができ、大切な時間を精一杯過ごせたことを、本当に有難く思っています。

一昨年の12月に手術をしましたが、治療法はなく、一日も早く退院して家族との楽しい時間を過ごすようにと配慮していただき、自宅での生活に不安もありましたが、訪問看護の方やケアマネージャーさんと一緒に、退院の準備やその後の打合せをして、準備万端に退院する事ができました。

退院後は、美容室に行ったり、天神に行ったりと気持ちも明るくなって楽しい日々を過ごしていましたが、なんといっても一番の幸せは家族と一緒にご飯を食べて、笑って過ごす、普段どおりの生活ができることでした。

訪問看護の方やケアマネージャーさんに助けていただき、自宅で生活できている事が、母の生きる力になっていたと思います。

亡くなる前は、常に母の病状をみて薬を処方していただきましたので、痛みを訴えることなく、最期は眠ったまま逝くことができました。

7歳の孫がいますが、いつもそばにいて話をしながら体をさすってあげたり、手を握ってはげましたりしていましたので、亡くなった時も、一緒に体を拭いてあげて、天国に行ったおばあちゃんを自然に受け入れているようでした。

病院で亡くなるのが当たり前のように思っていましたが、皆さんのお力をお借りして、自宅で看取ることができ、母も喜んでくれていると思います、本当にありがとうございました。

孫と一緒に育てていたアサガオが亡くなる前に一度枯れかけたのですが、なせがその後も緑の葉をつけて、毎月、毎月、花を咲かせています… 今月もまた咲きました。

「リハビリテーションと緩和ケア」

訪問作業療法士　中村 亮子

リハビリテーションと聞くと、「心身の機能回復」と解釈される方も多いと思いますが、その語源はラテン語で、re（再び）+habilis（適した）、すなわち「再び適した状態になること」「本来あるべき状態への回復」などの意味を持ちます。

当院の訪問リハビリテーションでは、脳卒中や骨折後等の患者さまのみならず、緩和ケアの患者さまに関わらせていただく機会があります。運動の習慣をつけたり、自宅の環境を整えることで日常生活動作の自立度が向上するリハビリテーションとは違い、終末期を迎えた患者さまに何ができるのだろうかと、悩むことも少なくありません。

しかし、リハビリテーションの目的を、「その人らしさへの回復」と捉えると、今できることが見えてきます。例えば「痛み」は、からだの問題以外に、こころの問題もあります。ベッド上でからだをほぐしながら、こころの痛みを傾聴します。言葉にできない家族への想いを伝える演出をすることもあります。時には、医師や看護師と連携して、最後の希望を叶えるお手伝いをすることもあります。

緩和ケアに関わる上で大切なのは、「その人らしく最後まで生きる」ために今何ができるのだろうかと、懸命に考え、悩み、寄り添うことだと思います。

●2011年（1月1日～12月31日）

入院相談		207件
緩和ケア病棟（定床 20）		
入院件数	175件（140名）	
退院件数	170件（134名）	
平均在院日数	40.9日	
1日平均患者数	19.6名	
在宅ケア		36名
在宅看取り	7名	
緩和ケア病棟入院患者　140名の内訳		
年齢	24～103才（平均 73）	
男女比	80：60	
疾患名	肺癌	36
	大腸癌	15
	胃癌	11
	肝癌	11
	子宮癌	9
	膵癌	8
	その他	50
紹介元の医療機関	九州がんセンター	61
	当院	28
	福岡大学病院	9
	九州大学病院	5
	福岡赤十字病院	4
	福岡病院	4
	その他	29
患者住所	福岡市南区	48
	春日市	32
	那珂川町	21
	大野城市	8
	福岡市博多区	7
	太宰府市	6
	その他	18

ボランティア養成講座のご案内

緩和ケア病棟師長　植木 昭代

平成23年9月から、かねてからの念願が叶い、ボランティア養成講座を開くことができました。当院ボランティアは緩和ケア病棟開設直前、福岡ホスピスの会にご支援いただき、募集せずとも開設当初からボランティアの人員に恵まれました。現在もホスピスの会の方々には毎週ボランティアにおいでいただき、病棟に優しい風を運んでくださっております。

入院相談を請け負っておりますと、初対面の患者さんやご家族から、「ここは姥捨て山で、何もしてくれない所でしょう?」などと言われます。まだまだ緩和ケア病棟に対する偏見があることを感じます。もっと緩和ケア病棟というのはどういうところなのか実際に見ていただきたい。世間一般の方々に緩和ケアを知っていただきたい。そんな動機から、ボランティア講座を地域密着型の病院として当院で行い、近隣の方々にお越しいただきたいとの思いが募りました。今年の2月まで毎月1回のペースで勉強会を行い、会を重ねるごとに地域の方々のご参加が増えてまいりました。

平成24年度も同じようなペースで講座を予定しております。9月から2月までの6回コース、内容も同じものでと思っております。中途参加者から行けなかった講座を受けたいとのご要望をいただいているためです。期日が近くなりましたら、ポスターやホームページなどで詳細をお知らせいたします。

どうぞ奮ってご参加ください。

●ボランティア養成講座　予定表

期日	内容
平成24年 9月28日（金）	ボランティアとは？
平成24年10月26日（金）	緩和ケアとは？
平成24年11月30日（金）	身体症状の緩和
平成24年12月21日（金）	精神的援助・ スピリチュアルケア
平成25年 1月25日（金）	家族ケア
平成25年 2月22日（金）	社会的援助・ チームアプローチ

会場　那珂川病院／５階研修室
時間　17時30分～18時30分
問い合わせ　ボランティアコーディネーター　山下 公子（ひろこ）
※期日は変更の可能性があります

那珂川病院健康教室を開催いたしました

第１回　病気になりにくい食事編

病気になりにくい食事には、減塩、カルシウム、栄養のバランスはもちろん、イソフラボンやマグネシウムの摂取が大切である。

老化には5つのタイプがあり、人によっては老化する部分が違う。

ちまたに販売されている弁当や、インスタント食品には、ミネラルを吸着する食品添加物や、ミネラルが抜けてしまった水煮食品が使用されている事が多いため、これらの食品だけではミネラル不足になりやすいことに注意する必要がある。

第２回　腰痛予防について編

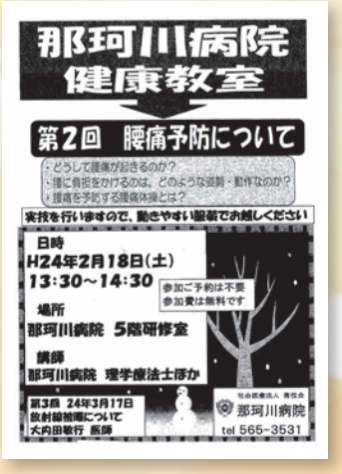
リハビリテーション部　篠崎　雅幸

2月18日、雪の降る中多くの方々にお集まりいただき、第2回健康教室が行われました。

今回はリハビリ担当ということで「腰痛予防について」の題目のもと、**①腰痛の起こる原因②腰に負担をかける動作・姿勢③腰痛予防体操**、の講義および実技を行いました。

講義は一般の方にも理解していただけるように説明し、実技は全員参加で行いました。その結果、時折笑いの起こる和やかな雰囲気で行えたと思います。

参加された方々の腰痛軽減・防止のお役に立てれば幸いです。

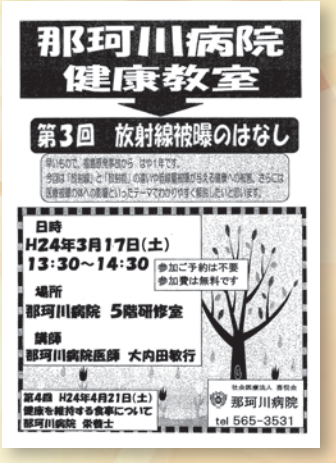


第３回　放射線被曝のはなし編

放射線と放射能の違い、放射能・放射線の歴史、α線、β線、γ線のはなし、ベクレル、グレイ、シーベルトなどの単位の解説をしました。また放射線被曝には「体外被曝」と「体内被曝」があり、被曝による障害には「確定的障害」と「確率的障害」があること、低線量被曝は確率的に障害として現れ、発癌のリスクが高まることを説明しました。

低線量被曝は体によい（放射線ホルミシス）とする考えもある一方、非常に危険であるとする考えもあり、未だ不明な点も多いと考えます。

無駄な医療被曝は極力減らすべきですが、若年者の被曝と高齢者の被曝を同等に扱う事はできません。



※第4回健康教室は4月21日（土）に「健康を維持する食事」について、那珂川病院栄養士より紹介させていただきました。
第5回目以降も開催予定ですので、日程や内容などについては担当者までお問い合わせください。

平成24年4月から始まる “高額療養費の外来現物給付化”って何？

医療費の家計負担が重くならないよう、医療機関や薬局の窓口で支払う自己負担額が、1カ月（暦月：1日から末日まで）単位で一定額を超えた場合に、その超えた金額を支給する「高額療養費制度」があります。

これまでの高額療養費制度の仕組みでは、入院される方については、「認定証」などの提示により、窓口での支払いを自己負担限度額にとどめることが可能でしたが、外来診療では窓口負担が限度額を超えた場合でも、いったんその額をお支払いいただいていました。

平成24年4月1日からは、外来診療についても「認定証」などを提示すれば、自己負担限度額を超える分を窓口で支払う必要はなくなります。

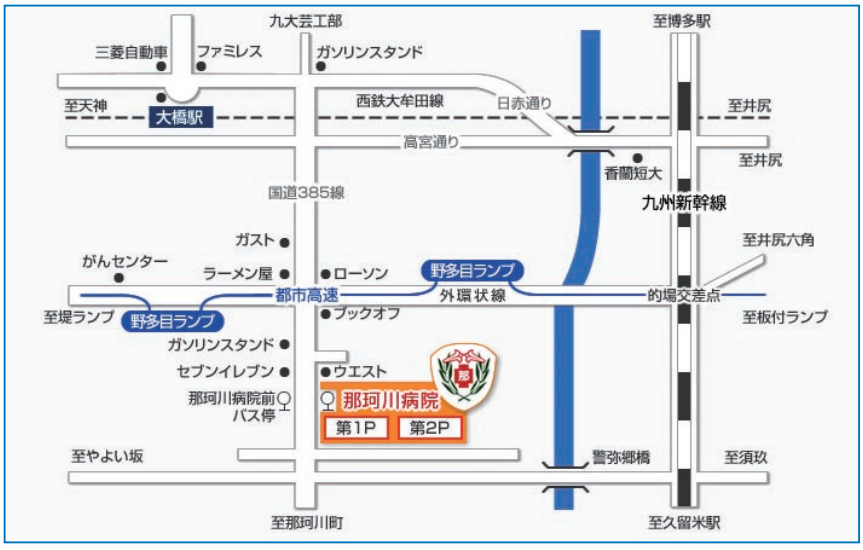
この取り扱いを受けるには、事前に「認定証」を入手していただく必要があります。認定証の交付手続きについては、ご加入の健康保険組合、協会けんぽ、または市町村役場などにお問い合わせください。

例 70歳未満の場合

所得区分	限度額	
	過去12カ月の高額該当3回目まで	4回目以降
上位所得者※1	**150,000円** 医療費が500,000円を超えた場合は、その超えた分の1%加算	83,400円
一般	**80,100円** 医療費が267,000円を超えた場合は、その超えた分の1%を加算	44,400円
市民税非課税世帯	**35,400円**	24,600円

※1　上位所得者とは、基礎控除後の総所得金額等が600万円を超える世帯にあたります。
※2　所得区分の判定は、前年の所得により行い、8月から翌年7月診療分に適用します。

なお、上記自己負担限度額は年齢等により異なりますので、詳細は病院事務スタッフ、各市町村役場等にお尋ねください。



【交通】西鉄バス系統番号4番・47番・62番・620番「那珂川病院前」下車すぐ　■駐車場150台

常勤医師診療担当表

医師名	担当領域
下川　敏弘	消化器外科、呼吸器外科、透析
大国　貴史	消化器外科、透析、漢方
古賀　健資	消化器外科、呼吸器外科
吉村　寛志	大腸・肛門外科、消化器外科
宮脇　龍一郎	循環器内科
筒井　伸一	消化器内科
大内田　敏行	放射線科
片桐　邦彦	脳神経外科
金宮　八重子	脳神経外科
原口　勝	緩和医療
古賀　善彦	リハビリテーション科（回復期）
熊澤　浩明	外科
福永　昌幸	麻酔科・外科・救急
竹内　一馬	血管外科・循環器内科
横山　良平	整形外科
月江　教昭	緩和医療・内科

平成24年5月1日現在